

# 日々研鑽

～職員が取得している資格を紹介します～



当院の職員は、患者さんにより質の高い医療を提供するために、入職後も日々研鑽を続け、それぞれ特定の分野において高度な知識と技術、経験を積むことにより得られる様々な資格を取得しています。この連載では、資格を得るための条件や流れ、資格取得後の働き方などについてご紹介していきます。

管理栄養士の認定資格

## 日本糖尿病療養指導士

「日本糖尿病療養指導士(CDEJ)」とは、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理(療養)を患者さんに指導する医療スタッフのことです。高度でかつ幅広い専門知識をもち、患者さんの糖尿病セルフケアを支援します。認定された糖尿病療養指導士は、糖尿病の臨床における生活指導のエキスパートです。

この資格は、一定の経験を有し、受験用講習会を受講し、受験資格審査(書類)を経て筆記試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられます。

2001年3月に第1回認定試験が行われ、2020年の認定者数は全国で約2万人となっています。当院には看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士の約20人が糖尿病療養指導士の認定を受け療養指導を行っています。医療は日々進歩しますので、糖尿病療養指導士として認定された後も引き続き実践と研鑽を重ねて最新の知識・技能を身につける必要があります。このため糖尿病療養指導士の認定制度は5年毎の更新制となっています。

糖尿病患者さんにはそれぞれライフスタイルがあり、それに合わせた療養指導が必要となります。糖尿病治療にもっとも大切な自己管理(療養)をする上で「食事」は切っても切れないもので、その大切さや重要性を伝えるためにはこの資格取得が管理栄養士である私にとって重要と思い、そして諸先輩方もみなこの資格を取得しており、資格取得に挑戦しました。

筆記試験は全職種共通のため、管理栄養士としての専門知識のほかに運動や薬などの糖尿病療養に必要な高度で幅広い分野の知識を身につけなければなりません。普段から指導している食事・栄養に関してはいいのですが、患者さんの療養生活にかかわる部分やインスリンをはじめとする糖尿病のお薬に関する知識などを覚えることが大変でした。

更新制のため、5年毎の更新も経験しました。症例レポート10例の提出があり、症例を集めるのが大変でした。そのほか講習会・研修会や各種学会へ参加をして日々進歩する医療・治療について学び、知識を深める事もスキルアップにつながり、療養指導に役立っています。数回更新するとバッジの色が変化するのでそれを目指し、さらに最新の知識や技能を身につけ、日々勉強していきたいと思えます。



←このバッジをつけて活動をしています。

院内の活動としては、糖尿教育入院はじめとした入院・外来糖尿病患者さんへの栄養指導を行って食事面でのサポートを行っています。2カ月に1度行われる糖尿病教室では昼食を作り、献立説明をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく休止になっており、糖尿病内科の

岡畑先生のご協力で、オンライン開催での糖尿病教室での指導のみですが、再開しています。

また、当院に在籍している糖尿病療養指導士と情報・意見交換、勉強会などを2カ月に1度程度行っています。このチームで当院での「世界糖尿病デー」のイベントの企画、運営を行っています。以前参加して下さった方もいると思いますが、新型コロナウイルス感染症の流行以前は、当院をスタートしてイチョウなどの木々の紅葉を見ながらブルーにライトアップされた大蔵大仏まで約2.5kmを歩く「大仏ウォーク」を行っていました。ここ2～3年は正面玄関にブルーサークルと外来ホールに職種ごとに糖尿病に関するポスターを作成して、活動報告や啓蒙活動を行っています。



2019年11月の大仏ウォーク

今後も糖尿病患者さんの療養生活がより良いものになるよう入院・外来での栄養指導などを継続し、他の糖尿病療養指導士と協力して糖尿病患者さんの療養指導も継続して行っていききたいと思います。

ここ最近、多職種との関わりが多くなってきており、管理栄養士の活躍の場が増えています。それに伴って糖尿病療養指導士以外の資格(認定資格を含め)も多くなってきています。栄養・食事管理にかかわる認定資格が他にも多数ありますので興味のある認定資格取得に向け、日々勉強をしていきたいと思っています。

(栄養管理室 主任管理栄養士  
清 亜弥子)

## 世界糖尿病デーに合わせて 今年もブルーライトアップとポスター掲示を行いました。

11月14日の「世界糖尿病デー」のイベントとして、11月1日(火)～15日(火)の間、正面玄関前にブルーサークルをライトアップし、外来ホールでは薬会、糖尿病・内分泌内科、看護部、栄養管理室、薬剤部がそれぞれ糖尿病に関する啓蒙ポスターを掲示しました。



◆11月14日はインスリンを発見したカナダのバンティング博士の生誕日です。そしてブルーサークルはWHO(世界保健機関)が制定した世界糖尿病デーのシンボルマークで、どこまでも続く空を表す「ブルー」と団結を表す「輪」を意味しています。